

新規事業評価調書

【交通安全施設事業】

主要地方道浜坂井土線

【道の駅「山陰海岸ジオパーク浜坂の郷(仮称)」】

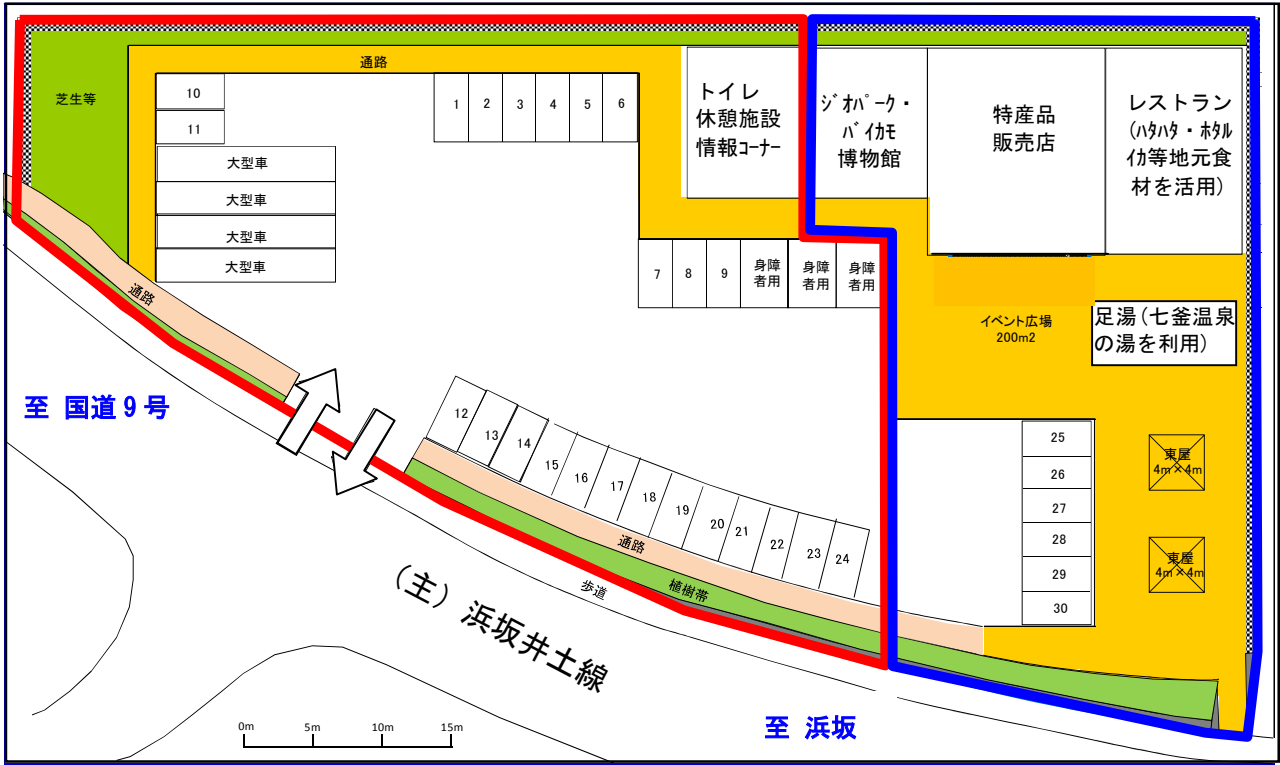
県土整備部
土木局 道路保全課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 濱 浩二 (主幹 山名 孝志)	内線	4389 (4399)	
事業 種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地 補償費	着手予定 年度	完了予定 年度
交通安全 施設事業	主要地方道浜坂井土線 道の駅「山陰海岸ジオパーク 浜坂の郷(仮称)」	新温泉町 <small>とちだに</small> 栃谷	2.0 億円	0.9 億円	平成 27 年度	平成 29 年度
事業目的			事業内容			
<p>○魅力ある地域の顔となる「道の駅」の整備</p> <p>山陰近畿自動車道の浜坂道路の供用(平成 29 年度)にあわせ、京阪神地域等からの利用者に対し、長距離・長時間運転に伴う交通事故の防止と観光客に対して情報提供が必要である。</p> <p>これらの課題解消と地域の活性化を図るため、休憩機能、情報発信機能と地域振興機能(新温泉町施行)等にあわせ持った「道の駅」を浜坂 IC(仮称)付近に整備する。</p>			<p>道の駅整備 面積：2,000m² 施設：駐車場(大型 4 台、小型 27 台) トイレ ※地域振興施設と一体利用 [負担割合 国:55%、県:45%]</p> <p>【関連事業】 新温泉町 地域振興施設整備 面積：1,000m² 施設：レストラン、特産品販売店、 バイクモ博物館、足湯等</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 新温泉町には「道の駅」などの駐車・休憩施設がなく、また、平成29年度供用の浜坂道路を含め、山陰近畿自動車道にも休憩施設は整備していない。</p> <p>② 浜坂井土線は、国道 9 号から市街地へのアクセスに利用され、約6,000台/日と自動車交通量が多い。</p> <p>③ 浜坂道路供用後は、京阪神等からの多数の観光客等が見込まれており、浜坂IC(仮称)周辺には新温泉町の玄関口としての整備が望まれている。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性 (執行環境状況)	<p>① 交通結節点となる浜坂道路の浜坂 IC(仮称)周辺に整備することで、長距離、長時間運転による事故予防に効果が期待できる。</p> <p>② 「道の駅」として、「休息」・「情報交流」・「地域振興」の各機能を持つことにより、道路利用者の利便性の向上に加え地域の活性化に寄与する。</p> <p>③ 周辺には、山陰海岸ジオパークの様々なジオサイトに加え、隣接する田君川でのバイクモ群生の保護活動が行われており、多くの観光客が期待できる。</p> <p>④ 東日本大震災では、東北地方の道の駅が防災施設として活用されたことから、本施設でも非常用の発電機、井戸等を設置して、災害時にライフラインの確保を図る。</p> <p>⑤ 円滑な用地取得の地元協力体制等、事業執行環境が整っている。</p> <p>⑥ 道の駅の地域振興施設は新温泉町が事業主体となり、管理運営は地元自治会等で行う予定である。</p>					
(3) 環境適合性	<p>① 通路や駐車場の舗装を透水性とし、雨水の地下への還元を図る。</p> <p>② 植樹帯の植生については、周辺の植生に配慮し、外来種等を採用しない。</p> <p>③ 建物、イベント広場等については、周辺の景観だけではなく、新温泉町の玄関口となるような意匠とする。</p>					
(4) 優先性	<p>① 地元自治会等で構成する検討委員会が 5 回開催されるなど、早期整備が求められている。</p> <p>② 浜坂道路の供用に合わせて、道の駅を整備することは、観光客等への利便性が向上する。</p>					

※関係機関等との協議に伴い、関連事業の事業内容やレイアウト等は、変更する場合があります。

平面図



道路区域(駐車場、トイレ、休憩施設等)A=2,000m²

地域振興施設区域
A=1,000m²(新温泉町)

整備スケジュール

工種	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
測量・設計												
用地取得												
本工事												